

2年 高高イノベーションアワード

1 目的

2学年の課題研究は、社会課題の調査・分析を行った上でアイデアを考え、社会実装を目指して、取り組んでいる。1学期には、課題を発見し、その解決策を考える「ビジネスプラン」を練って、その概要をプレゼンすることを目的とした。

2 概要

(1) 方法

7月17日(水)に『ビジネスプラン発表会』を行った。この発表会の各会場の生徒間投票で選ばれた代表グループが、高高イノベーションアワードに選出された。代表グループは、大学教授、起業家の方を審査員として、2学年全生徒の前で発表した。

(2) 過程

4月当初に生徒へ向けて、ビジネスプランを検討する際に①主張の一貫性、②新規性、③アイデアの有効性、④実現可能性、⑤アクションを念頭にテーマ設定やリサーチクエスチョンを行うことを説明した。生徒は、3～4人のグループで、さまざまなアイデア出しを行い、プランを練っていった。本校の行事である『先輩！教えてください』(7月3日実施)で、社会人の方にプランについてアドバイスをいただいた。

高高イノベーションアワードに選出されたグループは、夏季休業中に高崎商科大学の前田拓生教授にご指導をいただき、プランのブラッシュアップを行った。

(3) 日時・場所

8月28日(水) 14:05~16:05

高崎高校翠巒ホール

(4) 発表形式と評価方法

1グループにつき、発表5分、質疑応答4分で行った。質疑応答では、一般生徒から鋭い質問があり、審査員の方から各グループにコメントをいただいた。全グループの発表後、審査員の

方に最優秀賞と優秀賞を選出していただいた。

(5) 参加グループと発表タイトル

グループ	発表タイトル
101	フルかけ (フルーツふりかけ) Make furikake with leftover fruit!!
110	Dr.みまもりくん 認知症を早期発見を助ける会話ロボット
608	食品ロス×ブライスレス Food loss × Priceless
104	トイレ飛び跳ね&尿音抑制アクセサリ
406	後悔しない家具配置! 家具のVRプラットフォーム
504	学習モチベ上昇アプリ「MotivEdu」
604	ベジポイ フードロス0をめざして
402	Take Take It takes bamboo

(6) 所感

2学年生徒全員が1会場に集まり、発表を視聴するときは真剣に見聞きし、表彰式等では盛り上がる、非常に良い発表会となった。

プランとしてはまだまだ未熟ではあるが、発展性のある発表が多く、今後が楽しみであった。高崎高校が求めるプレゼン形式や、視聴(質疑応答を含む)を実践しており、好感が持てた。外部での発表会でも、そのような力を発揮してほしいと感じた。



〈高高イノベーションアワード発表・表彰式〉